



イノリツツ チライデニケリ
池田 祥子

 **Tokyo Mnemosyne** 東京ムネモシュネ

Tokyo Mnemosyne **e-books**

<http://haikustock.com>

A4用紙に印刷して2つ折りにします。右端をホッチキス留めするとA5判の小句集に仕上がります。
個人で楽しむ範囲でのダウンロード、印刷以外の無断転載・コピー・流用は一切禁止します。

争って気高き色の大白鳥

ボロ市や薪の匂いの白坐る

ゆさゆさときしきしと花雨の中

眠りたし桜吹雪の眼裏に

白神の秋陽を返す大風車

1

秋時雨異国語めきし津軽弁

野良猫の軒去らぬらし梅雨しとど

花葵むかし赤坂葵町

崖っふち飛沫の届く鮎の川

青葉照るまつことヨブは信仰の人

2

子燕の寝しずまる闇やわらかく

曼珠沙華祈りつつ地を出でにけり

色鳥の重さが見える枝の先

アンネの家祈りの星の黄水仙

子育てに似し看取りなり虫時雨

3

鯉の骨パズルのごとく解く夜長

降っていて空の明るさ春の雪

花屑を食む楼門の透かし竜

主婦の目に戻りて値切る市の茄子

上棟の紺足袋酔うて車座に

4

大屋根の鴟尾へ逆立つ新樹光

沼神の眼をしばたたく柳絮かな

コスモスの高さを帽子泳ぎゆく

佃煮へ梅の香の降る門前町

白神の水に浸して斧始め

5

マンボウの雲は悠々卒業歌

野鳥土手の起伏をなぞる蜚蝶

チャッキラコ小鳥の口で囃しおり

ほつほつと貝の息する大千潟

泰山木開きて宇宙までの距離

6